

「成果を創り出す方法」 # 4

4. 知る

成果を創り出す方法、4つ目は“知る”です。

「思い描く」「決める」「守る」の3つは、目標を達成するための必須要素になります。この3つをしっかりと、黙々と続けていれば、ある程度の目標は達成出来ます。ならば、3つで良いじゃないか!! もし、それを一人でやり遂げることが出来る目標であれば、それで良いでしょう。

しかし、多くの人を巻き込み、大きな目標を掲げ、広く知らしめたいという願望がある場合。

組織の中で、上司や同僚とプロジェクトを組み、それを達成する場合。一人では成し遂げることが出来ないと思う時。この様な感覚を覚えた時に、次に掲げる《4. 知る》と《5. 伝える》が必要になってくるのです。

自分自身で出来ることに、100%取り組みながら、よい関係をより多くの人々と築く力を身に付け高めていくことが、あなたの能力や可能性を思う存分発揮させ、安定して成果を創り出す事を促してくれるのです。

ここで、はじめて“知る”という力の必要性が問われてきます。

まず、あなた自身が率先して、あなたと関わる身近な人々のことを正確に理解しようとしなければなりません。

周囲の人々への高い理解力や、その人々の思いに共感できる感性を高めることが、多くの人々とあなたとの間に友情や信頼、連帯意識を育み、互いが積極的に協力し合う絆を結びます。

良好な人間関係を構築することが、あなたの望みを叶えるための助けになり、周りの人々を味方にすることができ、必要な時に、家族友人、仲間、同僚などから積極的に応援してもらえる環境を手に入れることができるようになるのです。

いつも周りの人に関心を示し、その人たちの考えや心情を理解し感じ取れる豊かで柔軟な感性を磨くことが、多くの人々との交流を促し、友情、信頼、連帯意識を育み、孤独が忍び寄る隙をつくらず、互いが積極的に協力しあう関係性を築く助けとします。

他者を知る力を向上させることは、良好な人間関係の構築を通じて持続的に成果を創り出すことに貢献します。